



『社会生活を活性化させる音楽♪との長い付き合い』

公益社団法人 日本防犯設備協会 監事
サクサ株式会社 執行役員パートナー営業部長 平野 亘



日本防犯設備協会「防犯設備」への寄稿を要請され、何を記するべきか大いに迷いましたが、社歴35年が経過し、営業一筋で飛び回る(?)日々の中で、社会インフラの変革や、リーマンや震災、今回のコロナ騒動も含め、ここに至るまでいくつかの苦難にも遭遇しなんとか乗り越えてきましたが、振り返れば、特に30代後半からの仕事の責任が増し、多忙となってきた頃から、趣味の世界で学生時代の仲間たちと再び音楽(バンド活動)を再開できている事が、私の社会人生活の大いなる潤滑油となっている事を、昨今特に再認識しているので、今回はそれを題材とさせていただきます。仕事以外のお話で甚だ恐縮ですが、お付き合いの程お願いいたします。

もともと私は学生時代は軽音楽サークルに属し、当時はバンド活動に明け暮れる日々を過ごしておりました。VocalとKeyboardの担当で、Rock、Soul、R&B、Popsなど割と幅広い範囲のジャンルを嗜好しておりました。

Stevie Wonder、Donny Hathaway、Otis ReddingなどのブラックミュージックやRolling Stones、Whoなどの60～70年代Rockが一番好みのジャンルですが、学生時代は複数バンドの掛け持ちで、ライブハウスや大学構内等々でのライブ活動を行っていたものでした。当時の好きだった音楽は、今聞いてもやはり素晴らしいと思えるし、また世の中的にも今でも街中やメディアでも耳にすることが多い音楽で、やはり良いものはいつの時代でも理解されるようで、次世代にも適宜継承されているのは喜ばしいものがあります。

学生時代、音楽との付き合いは一生ものだと心に喫してはおりましたが、卒業後、地方勤務(大阪、札幌)の経験を経たり、日々の生活に追われていた事もあり、友人の結婚式等での演奏はあっても、バンド活動とはすっかりご無沙汰の20代～30代前半でした。

いつかはまたあの頃のようにライブを行いたい、という願望は常に有りましたが、なかなかきっかけのない日々でした。

そんな折の38歳位の時、学生時代の先輩の音頭取りで、当時の仲間たちでの合同ライブ開催の話が舞い込んできました。丁度仕事も波に乗ってきた年代の頃ではありましたが、学生時代の仲間と約15年振りに、昔やったR&Bやブラック・コンテンポラリー主体のステージを渋谷の「Take Off 7」というLive Houseで行いました。当時、きっかけを作って頂いた先輩には今もとても感謝している次第です。



といいながら、再開当初は長年のブランクをとても感じる部分が多く、私自身も以前に比べて声の張りも今一つ納得できるものでなかったり、という部分は多々あり、学生時代以上に個人練習に勤しんだものです。これはバンド仲間も同様で、個人練習のためスタジオを予約したり、楽器の充実を図ったり、個々のレベル向上には各々若い頃以上にお金をかけ(笑)こだわりを持って臨んでいたような気もします。

こうして念願の復活ライブを行った以降は、私だけでなくメンバー皆すっかり病みつきとなってしまい、以来20数年はほぼ毎年11月、ちょうど学生時代に学園祭のあった時期に一同に会して学生時代からの本拠地であった吉祥寺で、「OBたちの集い定例ライブ」を行い盛り上がる一日を過ごしております。

ちなみに私の妻も学生時代の後輩ボーカリストなのですが、私より5年ほど遅れてやはりカムバックし、以来すっかり癖になり(?)、毎年かかさず出演する中心メンバーとなっております。(主に違うバンドでの活動が主体)

毎年一回の定例ライブは早20年を越え、歳を重ねるごとにメンバー皆どんどん欲深くなり、各々の努力でスキルも少しづつ向上してきているような気もしないでもない、です(笑)

そして徐々に見に来て頂く方も大変有難いことに増えてきており、お陰様で毎年楽しいステージを展開出来ております。

選曲についても今は以前にも増して、サザンオールスターズ等々のみんなの良く知っている曲も選定し、皆で盛り上がっております。私自身はその定例ライブに加え、妻や友人達とは別途でサンシンや波の効果音(小豆をざるに入れたもの 笑)と唄がコラボした沖縄バンドでの活動も行っており、以前にも増して活動の枠は広がりつつあります。

往々にして仕事の立て込みがちの時期とライブ活動の時期が重なってしまう事も少なくはありません。本当に立て込んだときは流石に共存は難しい時もありますが、そうでなければ一つ言えることは、やはりOn／Offの切り替えによって日々の生活は充実感が溢れて、とても張りのあるものになり身体の疲れはあっても公私共々活性化する、という事は実感を持って言える事です。



今年は一連の新型コロナ影響で、音楽業界や世のライブハウスも大きな影響を受け、我々の定例ライブの開催も現在黄信号が点滅している状況です。何らかの方法で活動できる余地はないか、関係者で検討しておりますが、今年はなかなか難しい状況です。但し、この騒動も必ず収まる時は来る訳で、その先は是非70歳代くらいまでは定例ライブは続けてみたい、今後仕事をリタイアした後も音楽生活♪は充実して送れればこれに勝る幸せはない!と心から想う次第です。